

投票率アップに提案 ぜひ実行を



新井賢次

選挙管理委員会書記長
啓発活動の参考にしたい



具体的に啓発活動を

質問 各選挙における投票率アップは玉村町にとって喫緊の課題であり、真剣に取り組みべき優先事項である。住民意識を高めることが必要だ。そこで3つの提案をしたい。
①町なかには投票を促すキャッチフレーズ「県内町村で1番低い投票率 汚名返上しよう 暮らすならここがいい：玉村町」（一例）を掲げる。横断幕(国道35

4号 玉村宿歩道橋)、垂れ幕(役場庁舎、浄水場給水塔)、のぼり旗(選挙ポスター掲示板設置場所85か所)等。
②投票用紙を各戸に郵送する封筒に「選挙・投票所へのご招待です」と印刷するなどの工夫をする。
③子供から家族へ「投票に行つて！」の意味を込めたメッセージレーターを書いて渡してもらおう。と思うがどうか。

答弁 選挙管理委員会書記長 投票率アップのメッセージとしては、よい動機付けになる。啓発活動の参考にしたい。
教育長 来年度予定されている二つの選挙を教材化し、主権者教育の一環として、子供たちに選挙について考える場面を設定したい。

質問 玉村町魅力づくり推進機構設立は順調か
組織発足の効果の中に、長期的な推進体制の構築及び専門人材の育成配置とある。現在の地域おこし協力隊員の活躍を引き続き期待しているが。

答弁 企画課長 町としては引き続き定住してもらうことがベストであり、本人も望んでいるので、今後も新たな組織の中で中心的な役割を担ってもらおうよう期待している。
質問 収入計画では初年度、町からの委託料が必要だとされている。未来への投資と考えて予算を確保し、5月設立に向けて進めるべきだ。

答弁 町長 今までの検討委員会を通じてメンバーの熱いものを感じており、期待している。
こんな質問もしています
子供の貧困対策事業としての「学習支援」について

新橋建設が進まない 要因は何か



備前島久仁子

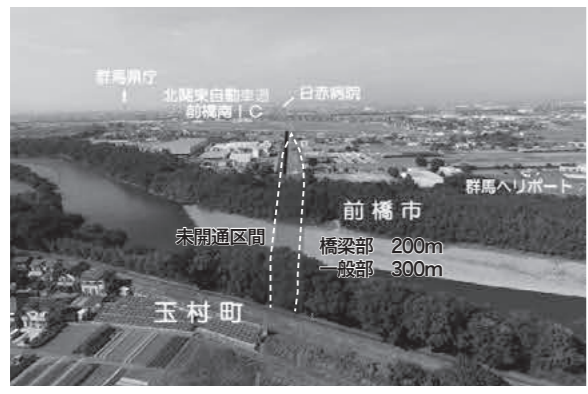
町長
橋の効果について
県の理解が必要

質問 新橋建設促進のため、町は20年にわたって県に要望活動を続けているが、進まない大きな要因は何か。また、玉村地区の未開発300メートルの具体的な計画はあるのか。

答弁 町長 県からは「玉村町には既に福島橋や玉村大橋がある。新橋ができることによって、どんな課題が解決されるのか」と言われている。これに対し町では「福島橋や玉村大橋は町内間を結ぶ橋だが、利根川新橋は、東毛広域幹線道路と前橋南部拠点地区を結び、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町の産業団地をつなぐ橋であり、県央南部地域の経済産業活動を今まで以上に活性化させ、県の成長戦略を推進する橋である」と説明をしているが、なかなか理解されていない。
玉村地区の約300メートル区間については、現道もなく用地買収等にも着手していない。これは実際に橋の詳細な設計が

行われないと高さや幅が決まらないため、買収に必要な用地が確定できないことによる。
質問 副町長は県土整備部長をされていた。その経験から、各自治体から県へ出されている橋の要件数及び、その中で必要性の高いところはどこだと考えるか。

答弁 副町長 6〜7本ほどあったと思う。町及び県の経済効果を考えると、利根川新橋と赤岩新橋(千代田町・熊谷市間)の必要性が高いと考える。
質問 玉村町は温泉や特産品がない中でも、試行錯誤しながら寄附額を増やしており、評価すべきと思う。目標の8800万円に向けて取り組んでほしいが、新たな返礼品開発には時間もかかる。企業等の生産品を加えるなどし、返礼品数を増やす考えはあるか。



玉村側から見た新橋建設予定図

答弁 企画課長 町内企業と交渉を進めてきた結果、近く製品を追加できることとなった。また、玉村町産のこしひかりを返礼品に加えるとともに、町内に新たにできたイチゴ農家にも働きかけを行い、返礼品を拡充したいと考えている。
こんな質問もしています
消防分団詰所の統合計画の進捗状況について